

# Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~

Vol.31  
2026. 春号

## — 目次 —

- 院長からのご挨拶
- 膠原病内科のご案内
- 昇格・新任部長のご紹介

発行：豊橋市民病院 患者総合支援センター  
0532-33-6111 (内)1491

## 院長からのご挨拶

春の暖かな季節となりました。皆さまにはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。診療報酬の改定や補助金の支給により病院としての安定は進んでいますが、依然として厳しい状況は続いています。私たちは皆さまとともに、診療と経営の両立を一層図ってまいります。

Bridgeは、地域連携登録医の皆様へ豊橋市民病院の活動をお知らせする情報機関誌です。本年度も最新情報をお届けします。

昨年から今年にかけてCOVID-19は大流行には至りませんでした。院内を騒がせる局面はありました。エンデミックが進む中、警戒を緩めてはおりません。また年初には東三河を中心とした麻疹感染症の発生もありましたが広範な拡大には至らず収束しました。今後も感染症の流行は予断を許しません。皆様方にも引き続きご注意をお願いいたします。

さて、本号では、新たに以下の医師が部長へ昇進されました。呼吸器外科部長・橋本久実子先生、麻酔科第一部長兼卒後臨床研修センター副センター長・中田純先生、小児科第三部長・戸川泰子先生、歯科口腔外科第一部長・白水敬昌先生、歯科口腔外科第二部長兼口唇口蓋裂・顎変形症センター長・大隅縁里子先生の5名です。いずれも当院で長く活躍されてきた方々です。今後の分野の発展を一層期待しています。昇進に際しての抱負も伺いました。

また本号の主要報告として、昨年4月から赴任しています膠原病内科の伊藤孝典先生に、当院での膠原病診療の現状をご紹介します。どうぞ一読ください。

今後とも地域医療の連携を深めてまいります。ご意見・ご感想がありましたら、ぜひお寄せください。



院長 平松 和洋

## 膠原病内科のご案内

### 略歴

- 2015年3月 福井大学医学部医学科 卒業
- 2015年4月 豊橋市民病院 初期研修
- 2017年4月 大同病院 膠原病リウマチ内科
- 2020年4月 聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center
- 2021年4月 大同病院 膠原病リウマチ内科
- 2025年1月 豊橋市民病院 総合診療科 医長
- 2025年4月 豊橋市民病院 膠原病内科・総合診療科 医長



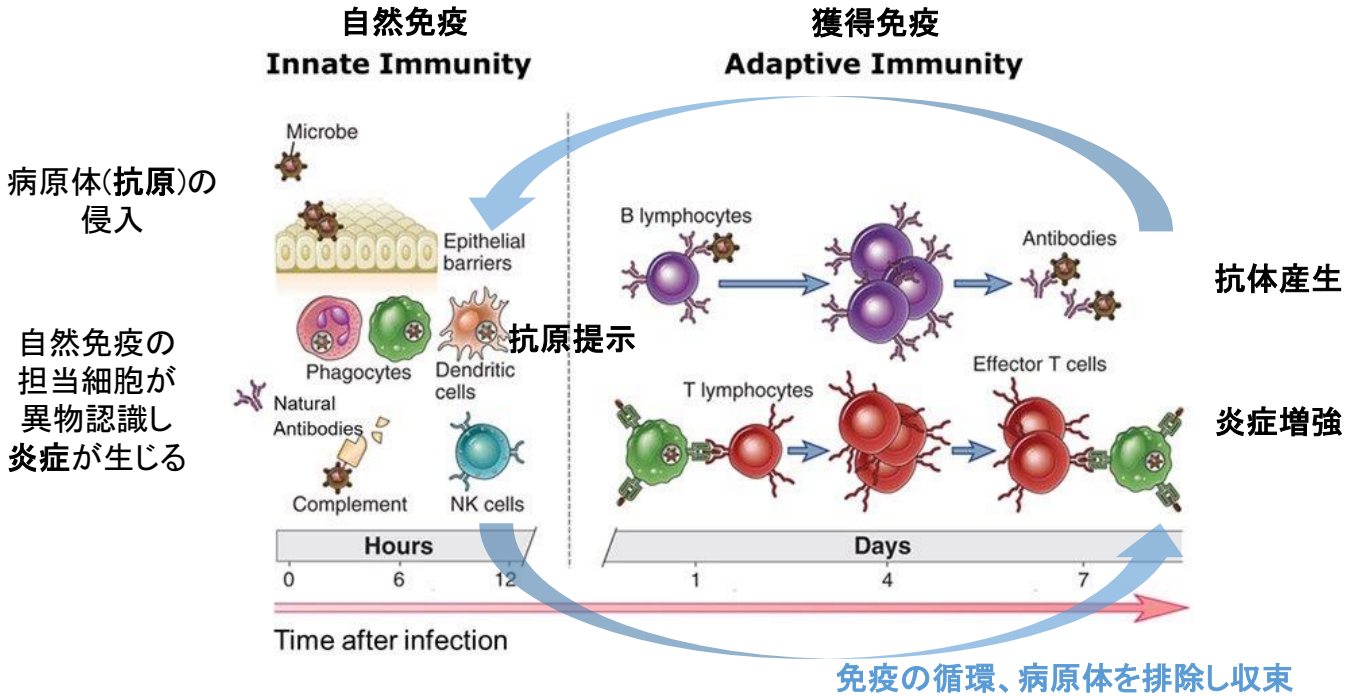
膠原病内科  
伊藤 孝典

豊橋市民病院 膠原病内科は、2011年に閉科いたしておりましたが、皆さまの多大なるご支援とご尽力により、2025年4月より診療を再開する運びとなりました。この場をお借りして、関係各位の皆さまに心より御礼申し上げます。初期研修でお世話になった、この豊橋市民病院に研修後から培ってきた専門性を軸に恩返しできることを光栄に思っております。今後も微力ながら、持続可能な診療体制の維持に努めてまいりますので、末永くよろしくご挨拶申し上げます。

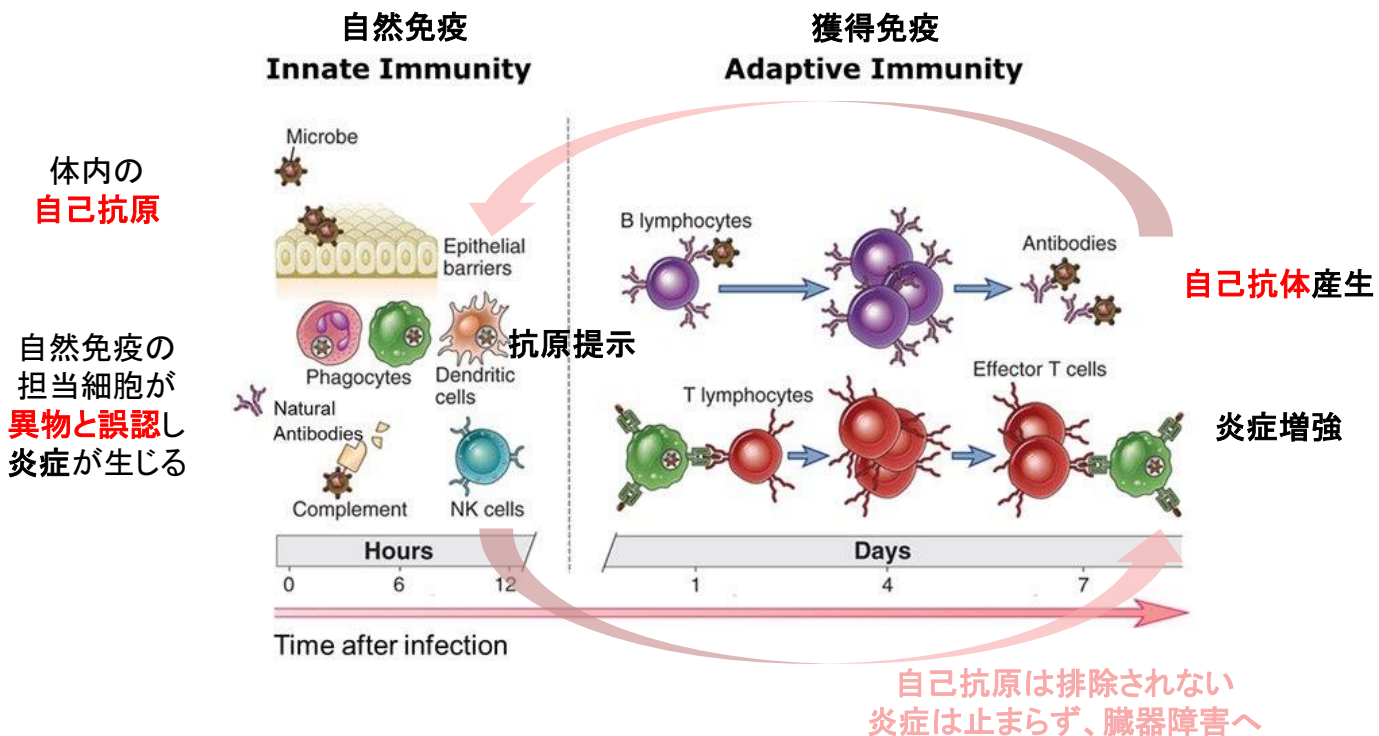
# 膠原病内科のご案内

膠原病は「免疫」異常を背景とした疾患の総称です。「免疫」は細菌やウイルスから自分を守るために備わっている重要な機能ですが、その「免疫」が、仲間であるはずの自分の体を細菌やウイルスと同様に敵(異物)として認識し働いてしまうことで、膠原病は発症すると考えられています。

## 一般的な免疫挙動



## 自己免疫疾患の免疫挙動



自己抗体陽性 = 膠原病 ではない、自己抗体陽性は自己免疫疾患を認知するきっかけにはなる

## AUTOINFLAMMATORY

### RARE MONOGENIC AUTOINFLAMMATORY DISEASES

FMF, TRAPS, HIDS, PAPA  
Blau syndrome (uveitis)

### POLYGENIC AUTOINFLAMMATORY DISEASES

Crohn disease, ulcerative colitis  
Degenerative diseases, e.g. osteoarthritis  
Gout/pseudogout/other crystal arthropathies  
Some categories of reactive arthritis and Psoriasis/psoriatic arthritis (no MHC associations)  
Self-limiting inflammatory arthritis including diseases clinically presenting as RA  
Storage diseases/congenital diseases with associated tissue inflammation  
Non-antibody associated vasculitis including giant cell and Takayasu arteritis  
Idiopathic uveitis  
Acne and acneform associated diseases  
Some neurological diseases, e.g. acute disseminated encephalomyelitis  
Erythema nodosum associated disease, including sarcoidosis

### MIXED PATTERN DISEASES with evidence of acquired component (MHC class I associations) and autoinflammatory components

Ankylosing spondylitis  
Reactive arthritis  
Psoriasis/psoriatic arthritis  
Behcet Syndrome  
Uveitis (HLA-B27 associated)

### CLASSIC POLYGENIC AUTOIMMUNE DISEASES (organ-specific and non-specific)

Rheumatoid arthritis  
Autoimmune uveitis (sympathetic ophthalmia)  
Celiac disease  
Primary biliary cirrhosis  
Autoimmune gastritis/pernicious anaemia  
Autoimmune thyroid disease  
Addison disease  
Pemphigus, pemphigoid, vitiligo  
Myasthenia gravis  
Dermatomyositis, polymyositis, scleroderma  
Goodpasture syndrome  
ANCA associated vasculitis  
Type 1 diabetes  
Sjogren syndrome  
Systemic lupus erythematosus

### RARE MONOGENIC AUTOIMMUNE DISEASES

ALPS, IPEX, APECED

## AUTOIMMUNE

膠原病 ≡ 結合組織病は2つに大別される

自己炎症疾患 (Autoinflammatory disease)

自己免疫疾患 (Autoimmune disease)

免疫担当細胞の違いや  
自己抗体の有無で両者を区別

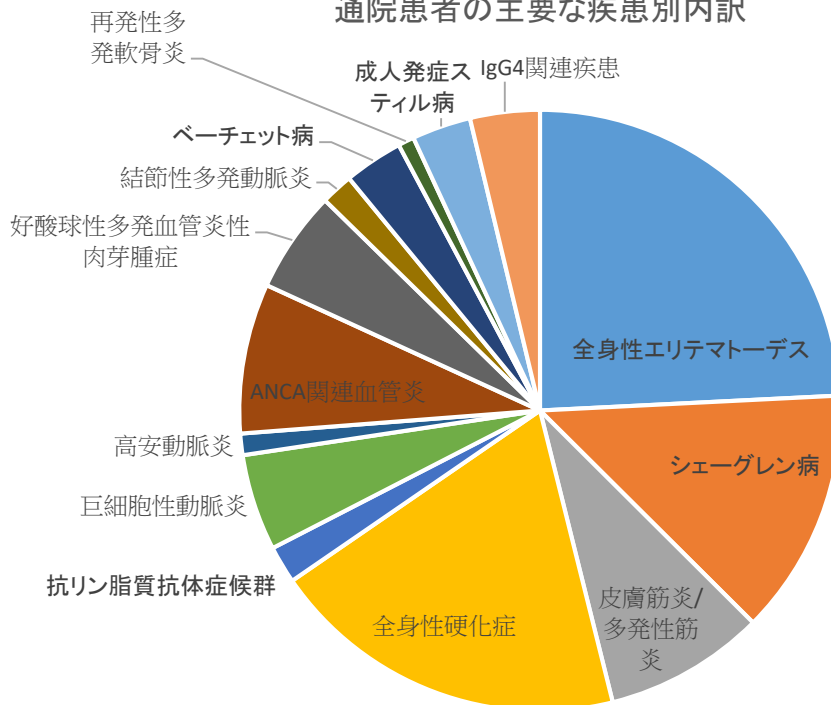
自然免疫異常 → 自己炎症疾患

獲得免疫異常 → 自己免疫疾患

ただし、自己抗体陽性は自己免疫疾患の免疫学的素因を意味するが明確な臓器病変がなければ診断に寄与しない

Pros Med. 2006 Aug;3(8):e297.

## 通院患者の主要な疾患別内訳



2026年3月時点

膠原病に対する病態の理解や治療法の開発は進歩しています。患者様が、健康な方と遜色なく社会活動を維持できることを目指して、病気と付き合っていくための、お手伝いをさせていただきます。

## 呼吸器外科部長 橋本 久実子

本年4月より呼吸器外科部長を拝命いたしました。豊橋市民病院での勤務も8年目となり、これまで多くの患者様と地域のクリニックの先生方に支えていただきながら診療を続けてまいりました。呼吸器外科の手術と聞くと不安を感じられる方も多いと思いますが、当科では3~4cmの小さな傷1つで行う単孔式胸腔鏡下手術や、単孔式ロボット支援下手術など、体への負担が少ない最新の手術、治療を積極的に取り入れています。術後の痛みや回復の早さにも配慮し、患者様一人ひとりに適した治療を心がけております。これらの手術を行う施設は全国でも限られていますが、少しでも安心して治療を受けていただけるよう努めております。部長としてスタッフ一同と力を合わせ、安全で質の高い医療を提供できる体制づくりにも尽力してまいります。これからも地域の皆様に寄り添い、安心して任せいただける医療を提供してまいります。

## 麻酔科第一部長兼卒後臨床研修センター副センター長 中田 純

麻酔科医の役割は、単に麻酔薬を投与することにとどまりません。手術中は血圧・心電図・酸素飽和度などを常に監視し、循環や呼吸の管理、輸液・輸血の調整を行います。さらに、不整脈や喘息発作といった合併症にも迅速に対応し、患者様の生命と安全を守っています。豊橋市民病院は東海地方でも有数の手術件数を誇る病院であり、その麻酔科第一部長を拝命したことに、責任の重さを強く感じています。また研修医教育の教育も麻酔科の重要な役割です。麻酔管理に加え、気管挿管などの手技や急変時の対応などの指導を行っています。さらに、特定行為看護師や救命士など多職種への教育にも積極的に取り組み、人材育成を通じて医療の質向上と地域医療への貢献を目指しています。

## 小児科(新生児)第三部長 戸川 泰子

この度、小児科(新生児)第三部長を拝命いたしました。私は豊橋市出身で研修医時代より医師生活の大半を豊橋市民病院で過ごし、地域の先生方には大変お世話になっております。専門は新生児で、新生児医療センターでの入院診療に加え、退院後のフォローアップや医療的ケア児の在宅医療にも従事しております。また臨床遺伝専門医を取得し、遺伝カウンセリングを行っております。原因不明と言われていたお子様が遺伝学的検査を行うことで診断、治療に繋がる症例を経験することがあります。一人一人のお子様、ご家族様に真摯に向き合い誠実な対応を行って参りたいと思います。いつも地域の先生方には多くのお子様のかかりつけ医としてご協力いただき、大変お世話になり感謝いたしております。今後も先生方の診療の一助となるよう小児科全体として努めて参りますので、引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

## 歯科口腔外科第一部長 白水 敬昌

すでに副部長、第二部長の時代からお世話になっておりますが、この度豊橋市民病院歯科口腔外科第一部長となりました白水敬昌です。地域の先生方には数多くのご紹介をいただき、2025年には当科初診患者数(周術期口腔機能管理などのオーラルマネージメントを除く)が2,710人、手術室手術件数が792件となりました。初診の内訳は埋伏歯に関連するものが圧倒的に多く、骨折等の外傷、顎顔面領域の急性炎症などがそれに続いています。それ以外に、最近では前述のオーラルマネージメントとして、院内他科の全身麻酔手術に伴う周術期の口腔機能管理や、骨修飾薬導入前の口腔スクリーニング、化学療法時の口腔粘膜炎へ対応することなども増えており、歯科衛生士の負担も大きくなってきています。初期臨床研修医2名を含め常勤歯科医7名の大所帯をまとめ上げ、歯科口腔外科の最後の砦として当地域に貢献できればと思っています。これまでも増して、どうかよろしくお願い申し上げます。

## 歯科口腔外科第二部長兼口唇口蓋裂・顎変形症センター長 大隅 縁里子

本年度より歯科口腔外科第二部長ならびに口唇口蓋裂・顎変形症センター長を拝命いたしました大隅縁里子と申します。当科では山本忠部長の時代より口唇口蓋裂治療に取り組み、2010年に口唇口蓋裂センターを設立しました。生後3か月での口唇形成術、1歳半での口蓋形成術に加え、犬歯萌出期の顎裂部腸骨移植術、成長後の不正咬合に対する上下顎骨切り術など包括的な治療を行っております。また、近年は歯列矯正のみでは改善困難な不正咬合である顎変形症に対する骨切り術も積極的に行っており、2025年に現センター名へ改称しました。今後も東三河地域において専門的医療を提供できるよう研鑽を重ねるとともに、院内各科の協力も得て、口腔がん、顎顔面骨折など幅広い口腔外科疾患に対応できる体制を維持発展させてゆく所存です。地域の先生方ならびに患者さんのご期待に応えられるよう一層努力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。